



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1784

2015年

7月5日

国労加入を 大胆に訴えよう

戦争法案反対に 連日の座り込み

安倍政権は憲法違反の「戦争法案」を国会に上程し、自衛隊を米軍とともに世界各地の戦争へ参加させる準備に躍りになっていて、今国会中に成立させるために、九月二七日までの大幅な会期延長を強行した。

これに対し、各労働組合、市民団体、学生など、平和を求めるさまざまな人たちが「戦争法案」反対の行動を強めていて、中でも国会周辺で様々な集会が連続的に行われた。

国労東京地方本部も、五月末から六月末までの長期にわたる国会前座り込み行動(主催・戦争させない・九条



6/15 神奈川地区本部



6/16 八王子地区本部



6/17 大宮地区本部



6/18 新橋支部

壊すな!総がかり行動実行委員会)に参加してきた。連日の行動に、各地区本部・支部から多くの組合員の参加を得て、連日国労の旗が議員会館前に立てられた。集会には、野党の国会議員や党首級の方も多く参加し、情勢の報告も行われ、全国から参加した団体からは、各県の取り組みなども報告された。また、シユブレヒコールも国会に向け、戦争反対、九条壊すな、政権の暴走を止めよう、法案廃案など怒りをもって何度も行われ、国会周辺に響き渡った。

戦争への道を 許さない 6.23

安倍自公政権が国会で戦争法案可決に向け躍りになっている今、様々な団体・組織が反戦・平和に向けて、全力をあげてきている。その中、六月二三日一八時三〇分からは、「戦争への道をゆるさない六・二三東京集会」(主催・戦争させない一〇〇〇人委員会)が開催され、国労東京地方本部をはじめ、各地区本部・支部から多くの組合

員が結集した。自治労や私鉄、多くの平和団体など平和を求める二五〇〇名の仲間が結集し、日比谷野外音楽堂を埋め尽くした。

集会で、一〇〇〇人委員会・佐藤議長は「今日六月二三日は沖縄戦が終結した慰霊の日。この過ちを絶対に繰り返してはならない。辺野古新基地建設や、オスプレイ横田基地配備など、国民の安全を犠牲にした施策を絶対に許さない。国会では安全保障関係の審議が行われている。安全法制を根底から覆す法案を数の論理で通すなど言語道断。平和憲法を守り抜き、後世にツケを回さすことなく、戦争ができる国には絶対にさせない決意をしよう」などの主催者あいさつをおこなった。また社民党・吉田党首は「沖縄戦、太平洋戦争の教訓は、二度と戦争をしてはならない、そして、軍隊は住民を助けられない。抑止力を掲げ、武力行使を背景にして

政策を進める事は、際限が無くなる。日本がしなければならぬのは、北東アジアで粘り強い外交努力で平和構築の先頭に立つ事。後方支援が戦闘地域でもできる



るようになるが、戦争でまず攻められるのは食料や弾薬などの補給部隊」などと連帯のあいさつをおこなった。その他、沖縄平和運動センターや第九次横田基地公害訴訟原告団など多くの方からあいさつや連帯の決意がされた。

集中行進で 平和を訴える

三多摩平和運動センター

三多摩平和運動センターは、六月六日に恒例の三多摩集中行進を行い、国労八王子地区本部からも多くの組合員が参加した。

国分寺市役所、府中市役所など四ヶ所に分散して集合。行進をしながら、憲法改悪反対、集団的自衛権容認阻止、戦争関連法案の制定反対、原発再稼働反対などを沿道にアピールし、最後に立川駅南口の立川錦中央公園に約四〇〇名が結集。終結集会で「戦争する国づくり」に反対し平和を守る取り組みに全力をあげる事を全体で確認し、田中議長(八王子地区本部委員長)の団結がんばろうで行進を締め

くくった。



三多摩平和運動センター 田中議長 (八王子地区本部委員長)

歓迎 国労加入

6/22 付

神奈川
地区本部
大船支部

7/1 付

野部
上支 (2名)

JETS
松戸

北柏駅

組織拡大へ向け 上野支部交流集会

若い組合員が先生

上野支部は六月一五日〜一六日に、越後湯沢において第六回上野支部組織対策交流会を開催した。

昨年上野駅で二名の若い仲間が加入したのを受け、今回は「若い人の気持ちを聞いてみよう」をテーマとし、東京地本中嶋青年部長に講演をお願いした。

中嶋青年部長は「若い人は、労働組合はあまり好きではないが、活動には興味がある。仲間、特に同期を大切にしよう。コミュニケーションを絶やさないでほしい」などの訴えを行い、また、昨年上野駅で加入した佐々木さんからは「労働条件などの改善で、職場を良くしていきたい。国労加入の呼びかけ方法をもう少し工夫してみよう」などの話がされた。

分散会や職場の報告では、「加入を躊躇(ちゅうちよ)している人に勇気を出して説得する」「ステーションサービスの職場に分会を作ったかどうか」「自分自身が運動に確信を持って訴える」「加入用紙を渡して訴えないと、決意しても入らない」「分会活動を活発にし、新聞

の発行・掲示板の活用をしてアピールすることは効果が大きい」などこれまでにない積極的な意見も出るようになり、参加者の意識は今までより一歩前進したと感じ取れた。

東京地本松川書記長からは「組織拡大の障害は自分の中に作っている。若手と向き合うことに対する壁をなくすこと」などの感想があり、まとめは鈴木書記長から、「分会活動を活性化し、加入の決断を促す取り組みを強めよう」と、各職場での取り組みの展開を求め、交流会は終了した。



分散交流会風景

東京平和運動センター総会

平和・人権・環境を求め

東京平和運動センターは、五月二七日に田町交通ビルにおいて、第二七回定期総会を開催した。

佐藤議長(私鉄東京・東急バス)の主催者あいさつのあと、二〇一四年度の活動報告や会計報告が行われたあと、今年度活動方針が提案され、①平和・人権・民主主義の憲法理念の実現を目指す。

②世界の平和と安全保障。③核兵器廃絶。④原子力政策の転換。⑤人権の確立。⑥環境・食の安全。などの取り組みを中心とした方針案が全体で承認された。

新役員には、引き続き私鉄東京から佐藤議長が選出され、国労東京からも鎌田委員長が常任幹事に、三多摩平和運動センターから田中議長(国労八王子地区本部委員



分散交流会風景

第43回国労東京野球大会

1回戦・2回戦 8/6(木) 大井
準 決・決勝戦 9/3(木) スポーツセンター
予備日 9/17(木) 野球場

国労東京 法律相談

毎月第2
水曜日
(8月はお休み)

初回は
無料です

要予約



あいさつする佐藤議長

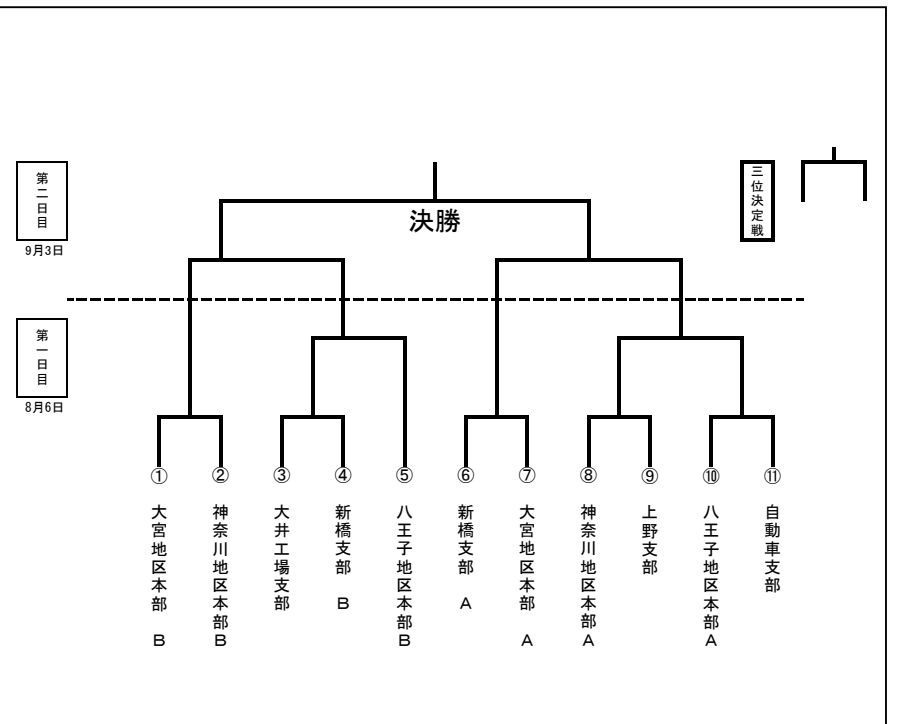
国労東京労働講座

7月25日(土) 13:30 ~
北区・岸町ふれあい会館(王子駅下車)

講師: 鴨田弁護士

戦争法案成立を許さない

労働法制改悪を許さない



「がん」の保障 《新生きるためのがん保険Days》

保険期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢: 0歳~満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円	
	上皮内新生物の場合 一時金として 10万円	
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円	
通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円	
手術したとき	手術治療給付金 1回につき 20万円	
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金 1回につき 20万円	
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	治療を受けた月ごと 10万円(給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと 治療を受けた月ごと 5万円(給付倍率1倍)	(更新後の保険期間を 含め通算600万円まで)

※ Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート 訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在)

新生きるためのがん保険Days Aプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ
保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

<引受保険会社>

アフラック 東京第二法人営業部
〒163-0456
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

コールセンター 0120-5555-95